



平成 27 年 1 月 23 日

各 位

会 社 名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン  
代表者名 代表取締役社長 小野間 史敏  
(JASDAQ コード : 3350)  
問合せ先 経 営 企 画 室 中村 朋宏  
電 話 (050-5835-0966)

### Red Planet Hotels Pasong Tamo Corporation の 第三者割当増資引受による株式取得及び資金の貸付のお知らせ

当社は本日開催の取締役会において、当社親会社であります Red Planet Holdings Pte. Ltd. (以下「RPH」といいます。) がフィリピンにホテル運営のために設立した特定のホテル保有会社 Red Planet Hotels Pasong Tamo Corporation (以下「SPC」といいます。) に対し、SPC が行う第三者割当増資を引き受けることにより、新たに発行される株式を取得する (以下「本株式取得」といいます。) とともに、SPC に対し資金の貸付を行う (以下「本貸付」といいます。) (以下「本株式取得」と「本貸付」を総称して「本取引」といいます。) ことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 株式の取得及び資金の貸付に関する理由

当社グループは、平成 25 年 4 月 8 日付「新たな事業の開始及び信託受益権 (固定資産) の取得に関するお知らせ」でお知らせしましたように、当社親会社であります RPH の協力のもと、ホテル事業を開始いたしました。平成 25 年 4 月、平成 25 年 10 月の 2 回のライツ・オフリングにより約 2,692 百万円の調達をし、また、平成 26 年 7 月 14 日付「第三者割当による新株式及び第 4 回新株予約権の発行に関するお知らせ」で開示しましたとおり約 2,750 百万円の調達を予定し、調達した資金により、既存ホテル「チェーン那覇沖縄ホテル」、「ロイヤルオークホテル五反田」及び現在建設中のホテル「東京浅草」、平成 27 年 4 月頃建設開始予定の「名古屋市中区錦」のホテル建設用地、また、東京都目黒区の既存ホテルの区分所有 (84 室、総額 644 百万円) を取得し、ホテル事業の強化に積極的に取り組んでおります。

現在、稼働するホテル「チェーン那覇沖縄ホテル」、「ロイヤルオークホテル五反田」は稼働率も順調に推移しており、更に付加価値を付けたホテルの提案に向け、飲食事業会社を連結子会社とするなど、更なるホテル事業の強化を図っております。

また、当社親会社であります RPH は、東南アジアを中心にホテルを複数運営しており、現在も建設中のホテルがあるなど、日本以外の東南アジアを中心にグローバル展開して

おります。当社の現時点での日本におけるホテル運営は現在数少ない状況であります、RPH は日本のホテルが提供するお客様サービスやホテル運営のノウハウに非常に関心を寄せており、RPH が東南アジアで運営するホテルにおいても日本のホテル運営のノウハウを当社と共有したいとの意向を示しておりました。

また、当社としましては、国内ホテル事業の展開に積極的に取り組んでいるところであり、当初より韓国や中国その他アジア諸国など海外ホテル事業への投資も視野に入れておりました。このような状況下、親会社であります RPH から本取引に関する提案を受けたものであります。

当社グループが運営するホテルが提供するお客様サービスやホテル運営のノウハウにつきましてもクオリティが高いとの一定の評価を受けておりますが、海外でホテルを運営する当該 SPC の株式を取得することにより、当社グループが運営するホテルのスタッフを海外ホテルに研修に行かせるなど人材交流を行える環境を整備し、よりホスピタリティ意識の高いスタッフを育成する場を確保することができると考えております。また、当社グループが培ってきたホテルサービスのノウハウを RPH と共有することにより、当社グループのホテル運営のグローバル化が見込めるとともに更なる質の向上を図ることができ、当社グループ全体の企業価値向上につながると判断し、本取引を行うことといたしました。

現在 SPC が建築しているホテルは「チェーンアラヤフィリピンホテル（仮称）」であり、マニラ市内に位置する 180 室のホテルで、2015 年夏頃のオープンを予定しております。総事業費は約 \$ 9,800,000（約 11 億円）であり、当初は RPH または RPH の子会社である Red Planet Holdings (Philippines) Limited（以下「RPHPL」といいます。）が全額を支出する予定でありましたが、前述のとおり、当社グループホテルのサービスのクオリティが RPH に非常に評価され、日本のホテルサービスのノウハウを本ホテルにも活かしたいとの要望があったこと、また、当社としても海外ホテル事業に目を向け始めており、海外投資への意向があることを RPH に伝えていたところ、RPH から本取引の提案を受け、当社としましては RPH とのシナジーがより期待できるとの判断から、本取引を行うこととしたものであります。

当社が、SPC の株式の引受及び貸付に使用する資金は、当社所有不動産の担保余力により行っているホテル開発用の銀行借入金の一部から行うものであります。

また、SPC との間で新株引受契約及び貸付契約を締結するにあたり、各契約書に以下の条項を設けております。

- ①当社は、本株式取得について、新株引受契約締結後 3 か月を経過した時から RPHPL に対し、購入価格に 10%のプレミアムを上乗せしたプット・オプションを書面で通知することにより行使することができ、RPHPL は、書面受領後 15 日以内にこれに応じなければならない。
- ②当社は、本貸付について、貸付契約締結後 3 か月を経過した時から、少なくとも 7 日前までに SPC に書面で通知することにより、元金全額とともに年率 12%の利息または元金全額に対する 10%の固定額を受け取ることができる。

当該条項を設けることにより、本株式取得のために支出した資金を機動的に回収するこ

とができるとともに、本貸付につきましても日本国内よりも有利な金利での運用を行えるものであります。また、本貸付につきましても RPHPL の保証が付されるため、貸し倒れリスクは低いものとなっております。

なお、本株式取得により、当該 SPC は持分法適用関連会社に該当する可能性があります。

## 2. 支配株主との取引等に関する事項

SPC は当社の親会社であり支配株主に該当する RPH の子会社等に該当するため、本取引は、支配株主との取引等に該当します。当社が平成 27 年 1 月 8 日に開示したコーポレートガバナンス報告書では、「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」として、「支配株主との取引条件等につきましては、市場価格・水準を勘案して一般的取引と同様に決定しております。なお、支配株主との重要な契約の締結については、取締役会で審議し、支配株主以外の株主の利益を阻害していないことを確認しております。」と記載しております。

当該指針に関する本取引における適合状況につきましては、他の取引先と同じく市場価格・水準を勘案して一般的取引と同様に決定し、少数株主にとって不利益とならないよう、本取引について、業務遂行に関する意思決定の中核機関である当社取締役会において審議を行うとともに、本取引に関し利害関係を有する取締役が審議に加わらないよう措置を講じ、適正な審議を行っていることから、当該指針に適合しているものと考えております。

また、当社取締役会は、株式会社東京証券取引所の定める有価証券上場規程第 441 条の 2 に基づき、本取引が少数株主にとって不利益なものでないことを確認するため、RPH との間に利害関係を有しない当社の社外取締役（清田卓生）及び社外監査役（高桑昌也、品川広志）から、本取引に関する決議を行った平成 27 年 1 月 23 日開催の取締役会に先立ち、平成 27 年 1 月 22 日付で意見書を取得いたしました。それによれば、「本取引は、貴社のホテルの経営計画及びグローバル展開、貴社グループの企業価値向上、これに基づく貴社の財務基盤の安定化のために必要性が認められる。また、本取引は、貴社における一時的な現預金の減少に繋がるが、本取引の実施条件はいずれも相当なものであり、貴社の経営状況、貴社における他の資金使途・運用機会と比べて優位性が認められ、実施予定先選定にも不合理な点は認められず、SPC の財務状況に特段の懸念点も存在しないことから、本取引には、相当性が認められる。本取引は、貴社のホテルの開発・取得計画という貴社グループの企業価値向上に資することが合理的に予想されるものであり、また弁済時及び買い戻し時に少なくとも 10% のプレミアムが付されることに鑑みれば、他の資産運用に比べ貴社の財務基盤の安定により資するものである。また、本株式の発行価額は SPC 設立当初の金額であるところ、当プロジェクトが順調に推移していることからすれば、貴社にとって有利な株価である。現時点において、貴社による SPC に対する本件引受の買い取り及び本件貸付の弁済の請求の際に SPC に必要となる資金確保に支障となる事象が生じておらず将来的に生じ得るような事情も見受けられないことを貴社

は RPH の CFO に確認しており、また、本件貸付につき、RPHPL 社より保証が付されているため、SPC に予期しない資金繰りの悪化等があった際には、RPHPL 社から債務の弁済を受けることができるため、貸し倒れとなる可能性は低い。以上から、貴社による本取引の実施は、貴社の少数株主にとって不利益なものではない。」との意見を得ております。

なお、公正性を担保するための措置につきましては、本取引の条件は、市場金利、当社の財務状況及び金融機関等との取引条件を考慮して合理的な条件としており、少数株主に不利益となるものではないことを確認しております。また、経営方針及び日常の事業活動について上場会社としての自主、自立を基本としており、当社の親会社からの独立性は十分に確保されているものと認識しており、公正性は担保されているものと判断しております。

また、利益相反を回避するための措置としまして、本取引に係る取締役会に関し、当社取締役マーク・ライネックは、SPC の取締役会長であることから、利益相反を回避するため、決議に参加しておりません。また、当社取締役サイモン・ゲロヴィッチは、SPC の親会社等である Red Planet Holdings Pte. Ltd.の親会社である Red Planet Hotels Limited の取締役であり、当社取締役ティモシー・ハンシングは、Red Planet Holdings Pte. Ltd.の親会社である Red Planet Hotels Limited の取締役 CEO であることから、利益相反を回避するため、決議に参加しておりません。

### 3. 本取引を行う会社の概要

#### (Red Planet Hotels Pasong Tamo Corporation)

(1) 商号	Red Planet Hotels Pasong Tamo Corporation	
(2) 本店所在地	2nd Floor, Dacon Building, 2281 Chino Roces Avenue, 1231 Makati City, Metro Manila, Philippines	
(3) 代表者の役職・氏名	取締役会長 Mark Michael Reinecke	
(4) 事業内容	ホテル保有・開発・運営事業、小売スペースリース事業	
(5) 資本金の額	10,000,000.00 フィリピン・ペソ (約 26,300,000 円)	
(6) 設立年月日	平成 24 年 10 月	
(7) 大株主及び持株比率	Red Planet Holdings (Philippines) Limited 99.9% (Red Planet Holdings Pte. Ltd.の完全子会社)	
(8) 上場会社と当該会社との関係等	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	当社より取締役 1 名就任しております。
	取引関係	該当事項はありません。

### 4. 取得株式数、取得価額並びに取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (所有割合 : 0.00%)
(2) 取得株式数	9,999,900 株 (発行済株式総数に対する割合 : 99.9%)
(3) 支出する予定の額 (取得価額)	株式取得費用 約 26,300,000 円 (9,999,900.00 フィリピン・ペソ)
(4) 価額の算定根拠	当該会社設立時の株式価値を基準としております。SPC の事業計画・ホテル建設に特に変更はなく、ホテル運営 開始前であることから企業価値に変更はないと判断し、 当該価格と致しました。
(5) 異動後の所有株式数	RPHPL 9,999,995 株(所有割合 : 50.0%) 当社 9,999,900 株(所有割合 : 49.9%) その他個人(5 名) 5 株(所有割合 : 0.00%)

### 5. 本株式取得の日程

(1) 取締役会決議日	平成 27 年 1 月 23 日
(2) 新株引受契約書締結日	平成 27 年 1 月 23 日 (予定)
(3) 払込期日	平成 27 年 1 月 23 日 (予定)

### 6. 本貸付の詳細

(1) 貸付金の総額	450,000,000 円
(2) 貸付実行日	平成 27 年 1 月 23 日 (予定)

(3) 貸付期間	平成 27 年 1 月 23 日から平成 27 年 7 月 22 日まで(予定)
(4) 貸付条件	年率 12%または融資に対する 10%の固定額

7. 本貸付の日程

(1) 取締役会決議日	平成 27 年 1 月 23 日
(2) 貸付契約書締結日	平成 27 年 1 月 23 日 (予定)
(3) 貸付実行日	平成 27 年 1 月 23 日 (予定)

8. 今後の見通し

本取引による平成 27 年 9 月期の業績予想に与える影響につきましては、現在精査中であり、重要な影響を与える見込みが生じた場合には、確定次第速やかに公表いたします。

以上